

## 令和 2 年度岐阜大学シンポジウム（報告）

### 「with コロナにおける学校管理職の職能開発」

独立行政法人教職員支援機構令和 2 年度「教員の資質向上のための研修プログラム開発・実施支援事業報告」

令和 3 年 2 月 9 日（火）13:00～16:15 に、ZOOM によるオンラインシンポジウムを開催しました。

県内の教育関係者をはじめ、全国 30 大学から 82 名の参加をいただきました。

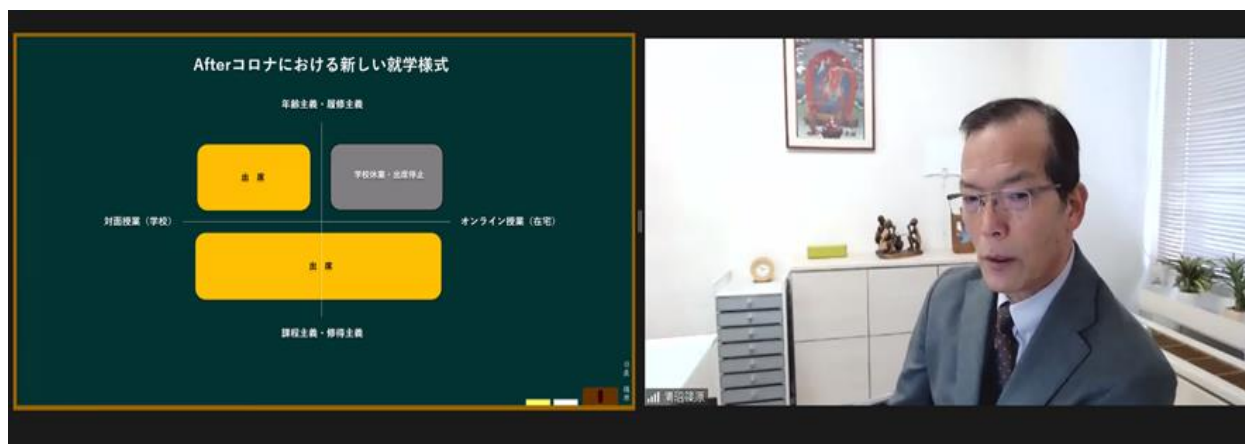
第 1 部 基調講演 1 尼崎市教育長の松本眞様から「尼崎市における「学びの保障」に向けた取組～ICT 活用の観点から～」のご講演をいただきました。松本様は、文科省や内閣官房を経た後、2018 年から教育長をされております。今般のコロナ禍においては、文部科学省の「学びの保障」オンラインフォーラムで、いち早く先進的取組みを報告されました。ご講演では、その先進的取組みを紹介いただきました。学校や家庭で何が起きているかを直ちに把握し、教師が学びを保障できるように教育行政が後押すること、公平性の判断等を学ばせていただきました。



基調講演を行う尼崎市教育長松本眞様

第 1 部 基調講演 2 岐阜聖徳学園大学教授の篠原清昭様から「with コロナにおける新しい学校経営」をご講演いただきました。篠原先生は岐阜大学教職大学院を立ち上げ、さらには全国初の学校管理職養成への進化をリードされ、

岐阜大学名誉教授でもいらっしゃいます。今般のコロナ禍においては、いち早く新しい学校経営についてご本を刊行されました。ご講演では、これまでが通用しない世界において、教育をどう考えて、学校を経営していくか、大変刺激的な問題提起をいただきました。



基調講演を行う岐阜聖徳学園大学教授 篠原清昭様

第2部の事業報告では、岐阜大学教職大学院と岐阜県教育委員会が連携して取り組んでいる学校管理職の養成研修「学校現場に即した学校管理職任用前と任用後の養成研修プログラムの開発」を報告しました。それらを踏まえて、第3部のラウンドテーブルでは参加者が小グループに分かれて、「with コロナにおける学校管理職の職能開発」について積極的な意見交流をし、最後に全体で共有しました。

不確実な時代だからこそ、現状をどのように認識し、その中で最適解を見出し、作り出す思考と行動が求められます。教職大学院はそうした学校課題解決力をより体系的に効果的に提供していくことができるように思います。引き続き、地域の教育委員会や学校と連携し、未来を作り出す学校管理職養成を推進していきたいと思っております。ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。